

BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km
 所要時間（往復） 約 1 時間 30 分
 標高差 約 318 m
 山頂標高 468 m



① 登山のマナー

- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう
- ・動植物の採取はご遠慮ください
- ・足元に注意して、無理のないペースで歩きましょう

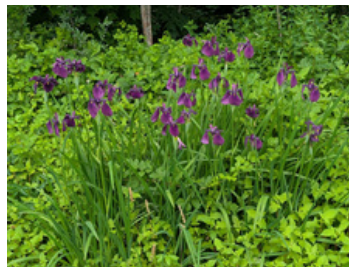
登山ルート

○ ポイント（合目）

上記は目安です。天候や体力により異なります。



ミズバショウ



ノハナショウブの群落



土塁遺構

歩いて見つける、季節の表情

ぼんてん山の自然

山道の入り口付近にはノハナショウブの群落を見ることができます。毎年6月中旬頃から見ごろを迎えます。ノハナショウブは江戸時代に園芸植物として町民の間で大流行したハナショウブの原種です。なぜノハナショウブの群落がその付近に残っているのでしょうか？

村営牧場付近は、江戸時代から昭和20年くらいまで「馬ハナシ」が行われてきた場所でした。3月になると三戸や五戸から放牧のためにたくさんの馬が連れてこられ、雪の降るころまで放牧されていました。そのため定期的に草が刈られ、一定の地下水が存在することで、群落が維持されていたのではとされています。

また、「馬ハナシ」の痕跡は登山道の1合目付近の幾つかの起伏でも感じられます。これは放牧用に使われていた土塁の遺構になります。

さらに、山道に入り小川を渡り切った左側には3月の下旬頃からミズバショウが咲き乱れます。

2

合目

ぼんてん山を歩く

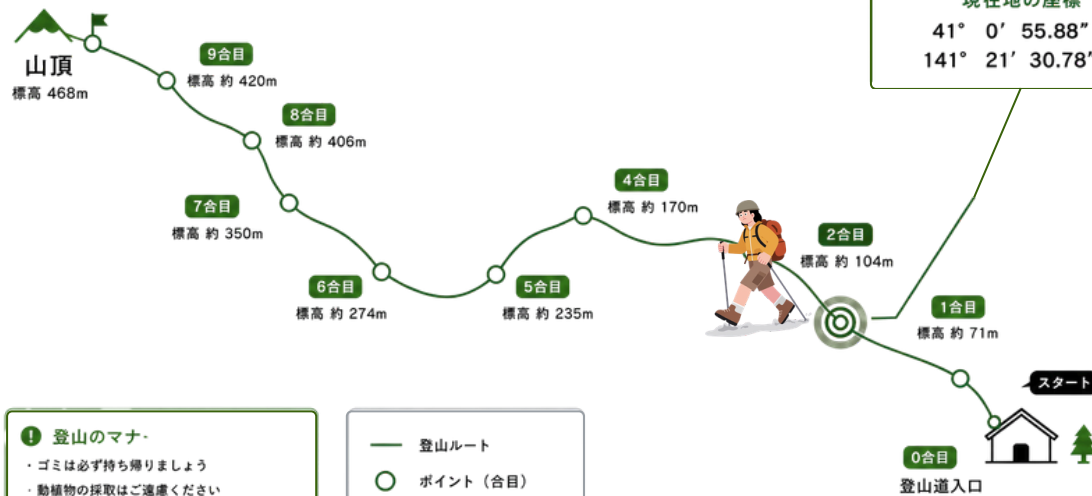
六ヶ所の自然にふれる



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km | 所要時間(往復) 約 1 時間 30 分 | 標高差 約 397 m | 山頂標高 468 m



登山のマナ

- ・ゴミは必ず持ち帰しましょう
- ・動植物の採取はご遠慮ください
- ・足元に注意して、無理のないペースで歩きましょう

登山ルート

ポイント(合目)

上記は目安です。天候や体力により異なります。

いまここ!!



2合目

標高 約 104m

現在地の座標

41° 0' 55.88" N
141° 21' 30.78" E



森に刻まれた、林業の記憶

ぼんてん山の森林鉄道

2合目付近には大亀沢林道が通っています。主に付近の国有林の管理、伐採した杉の搬出に使用されています。

また、ぼんてん山南側の老部川沿いには尾駸林道が通っています。そこに昭和39年まで林業用の森林鉄道があり伐採された青森ヒバの搬出を行っていました。今は全線廃止となっていますが、老部川を渡る橋台の跡等が残っています。



森林鉄道の機関車

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

3

合目

六ヶ所の自然にふれる

ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km | 所要時間(往復) 約 1 時間 30 分 | 標高差 約 397 m | 山頂標高 468 m



オオバクロモジ



森で出会う、香りとことば

オオバクロモジの物語

3合目付近には、オオバクロモジを多く見かけることができます。クロモジの語源は、樹肌に黒く文字を書いたような斑点があることから黒文字になったとする説と、クロモジから作った楊枝である黒楊枝の黒に女房言葉の「もじ」がついた「文字言葉」であるとする説があります。

昔は、宮中などに仕える女房たちの間では、直接その名を口にすることがはばかれるような言葉に「もじ」を付けました。つまり、人前で口の中を掃除するのがはばかれる黒楊枝を「黒もじ」と呼んだのです。

クロモジに含まれる精油成分が殺菌力を有するので、歯の掃除に適していたようです。現代では、和菓子などを食べる際の高級楊枝に使われています。

4

合目

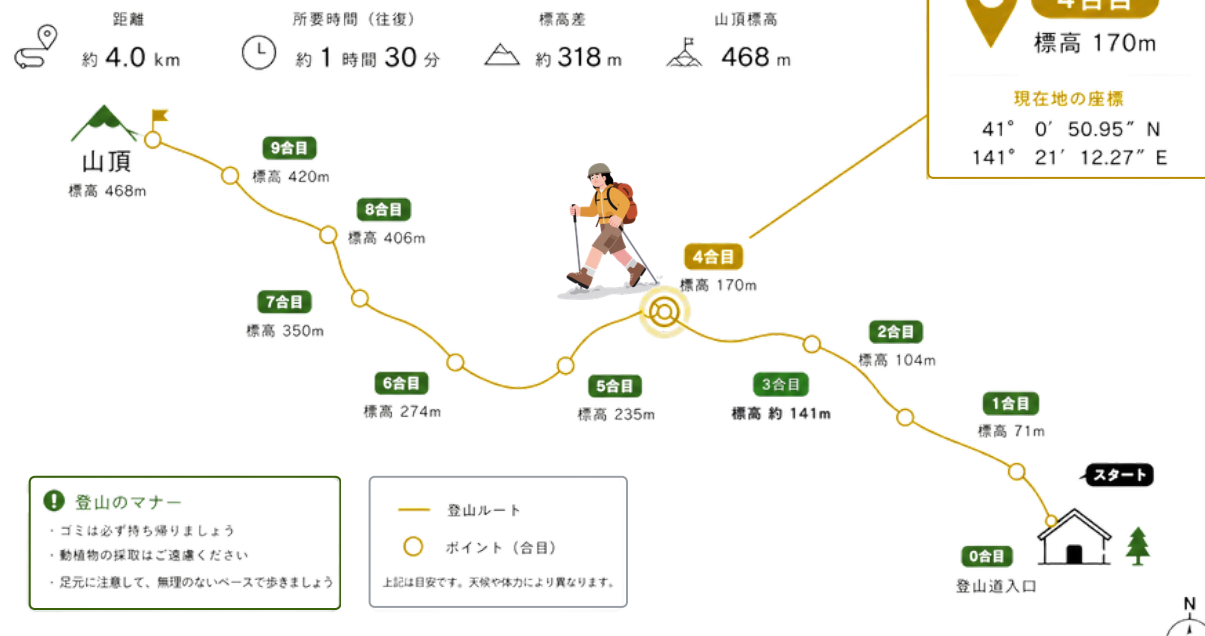
六ヶ所の自然にふれる

ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ



森の足もとに広がる、季節の恵み

ぼんてん山のきのこ

4合目付近はキノコが豊富です。春から秋にかけては、ナラ・コナラ・ブナなどの朽木周辺にナラタケが見られ、夏の終わりから秋にかけては欧米でパラソルマッシュルームとして人気があるカラカサダケを見ることができます。



ナラタケ



カラカサダケ

5

合目

六ヶ所の自然にふれる

ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km 所要時間 (往復) 約 1 時間 30 分 標高差 約 318 m 山頂標高 468 m



登山のマナー

- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう
- ・動植物の採取はご遠慮ください
- ・足元に注意して、無理のないペースで歩きましょう

登山ルート

ポイント (合目)

上記は目安です。天候や体力により異なります。

いまここ！

5合目
標高 235m

現在地の座標

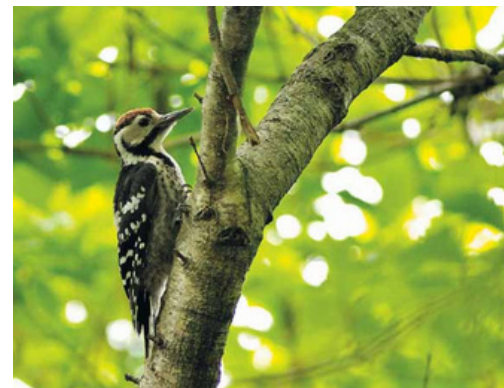
41° 0' 50.81" N
141° 20' 59.748 E

耳をすませば出会える、森の住人

ぼんてん山の野鳥

木を突くドラミングの音がしたらキツツキの仲間であるアカゲラがいるかもしれません。

「ギョッ ギョッ ギョッ」と鋭い声と頭の部分の赤色が特色です。5合目付近の山道沿いにはたくさんの野鳥を見ることができます。



アカゲラ

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

6

合目

六ヶ所の自然にふれる

ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km
所要時間 (往復) 約 1 時間 30 分
標高差 約 318 m
山頂標高 468 m



いまここ!!

6合目
標高 274m

現在地の座標

41° 0' 54.73" N
141° 20' 50.568" E

歩いて見つける、季節の表情

ぼんてん山の自然

6合目付近には水場があります。標高は270メートルですが山道頂上に向かって右側奥の谷に湧水による沢があります、出戸川の源の一つです。

この水場でふ化しているのか付近にはヤマアカガエルをみかけることがあります。オスは「キャララッ、キャララッ」と鳴いてメス呼びます。



水場のある沢

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

7

合目

六ヶ所の自然にふれる

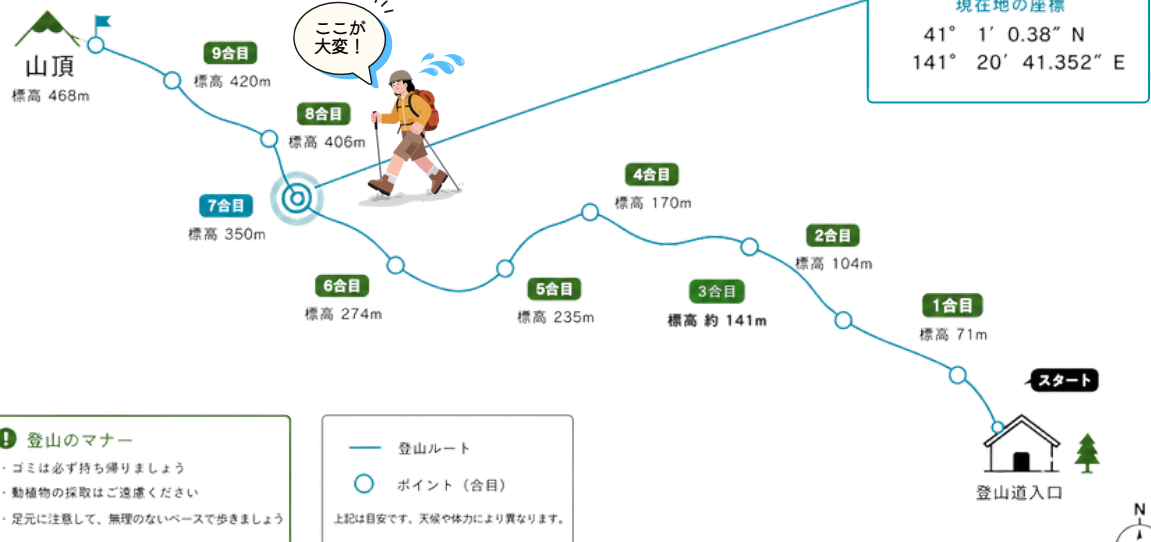
ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km
 所要時間（往復） 約 1 時間 30 分
 標高差 約 318 m
 山頂標高 468 m



歩いて見つける、季節の表情

ぼんてん山の自然

7合目付近は急登が続きます。この急登が終わると前ぼんてん展望所があります。

前ぼんてん展望所からは尾駈沼や鷹架沼、原子燃料サイクル施設、国家石油備蓄基地、遠くに階上岳、さらに天気良ければ岩手の早池峰山などを一望できます。もうすこしで展望所です。頑張ってください。



前ぼんてんの展望所より



8

合目

六ヶ所の自然にふれる

ぼんてん山を歩く



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km 所要時間（往復） 約 1 時間 30 分 標高差 約 318 m 山頂標高 468 m



COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

山に残る、祈りの記憶

ぼんてんの由来

ぼんてん山はなぜ、梵天というインドの神様の名前が付いているのでしょうか？

戦国時代から寺社が少なかった南部藩内では本山派と羽黒派山伏が活躍していて、六ヶ所村は羽黒派山伏の霞（勢力範囲）でした。山伏が修行の際に、棒の先に御幣をつけた「ぼんてん（神の依代）」を、この山に奉納したことから「ぼんてん山」と名付けられたと考えられています。

現在、このような風習は、秋田県や房総半島で見ることができます。また、かつては太平洋で漁をする漁師の目印にもなっていたそうです。8合目付近は晩秋になって木々の葉が落ちると大太平洋を一望できます。



山道から大太平洋を望む



BONTENYAMA

ぼんてん山登山マップ

距離 約 4.0 km 所要時間 (往復) 約 1 時間 30 分 標高差 約 318 m 山頂標高 468 m



! 登山のマナー

- ・ゴミは必ず持ち帰りましょう
- ・動植物の採取はご遠慮ください
- ・足元に注意して、無理のないペースで歩きましょう

— 登山ルート

○ ポイント (合目)

上記は目安です。天候や体力により異なります。

!! いまここ!!



9合目

標高 420m

現在地の座標

41° 1' 19.86" N
141° 20' 31.458" E

山の歴史を見つめてきた木

ぼんてん山の大ブナ

ぼんてん山では標高が低い所ではブナ、ミズナラなどの広葉樹とスギなどの針葉樹が混じる植生ですが、標高が高くなるにつれてブナ林となります。8号目と9合目の間にはぼんてん山のシンボルツリーである幹回り4,600cm、推定樹齢400年となる巨木ブナがあります。江戸幕府が始まった頃からこの場所にあったことを思うと感慨深いものがあります。



シンボルツリー(ブナの大木)

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO

COMING SOON
SEASONAL PHOTO